

# 愛・地球博記念 特別展示会2022

～ 愛・地球博が生み出したイノベティブ・ムーブメント ～

## 開催概要

- 催事名称 **愛・地球博記念特別展示会2022**
- 開催日程 2022年3月26日（土）～ 4月10日（日）  
※3月26日（土）10:30～オープニングセレモニーを実施
- 開場時間 〈土日〉10:00～16:30  
〈平日〉11:00～16:30  
※3月26日（土）オープニングセレモニーを実施するため、11:00～開場
- 開催会場 愛・地球博記念公園（モリコロパーク）  
〒480-1342 愛知県長久手市茨ヶ廻間乙1533-1  
TEL：0561-64-1130  
【展示会場】地球市民交流センター 体育館  
【オープニングセレモニー会場】地球市民交流センター 体育館前
- 主催 一般財団法人 地球産業文化研究所
- 後援 愛知県
- テーマ 愛・地球博の創意、工夫とその成果、その後の経済社会発展への貢献  
～愛・地球博が生み出したイノベティブ・ムーブメント～
- 入場料 無料
- webサイト <https://www.gispri.or.jp/newsletter/tenjikai>

## 愛・地球博が生み出したイノベティブな創意工夫による様々な取り組みの紹介、その成果がいかにその後社会の発展に貢献したかを展示で表現

### テーマ「自然の叡智」の具現化とテーマの社会への普及

- 新エネルギー・循環型システム
- 環境共生を具現化する都市づくり
- 環境問題解決に向けた社会システム



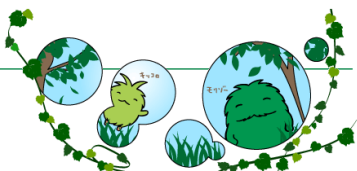
### 博覧会のイノベーションと社会の変革

- 博覧会史上初ICチップ入り入場券
- 次世代映像技術の新体験
- 未来の生活・産業インフラ技術



### 開催地のブランディングと都市インフラの継承・地域の発展

- 森と里山を生かした会場
- 地球大交流の場としての愛知・中部
- 博覧会を契機としたインフラ整備



展示テーマ	コーナー	内容
メッセージ（ご挨拶）		主催者からのご挨拶 21世紀における国際博覧会を巡る主な動向について
展示テーマⅠ 「自然の叡智」の具現化と 社会への普及	新エネルギーを取り入れた 実証実験	再生可能エネルギーや燃料電池、バイオマス発電などに取り組んだ循環型エネルギー実証実験と、その後の社会での発展。
	環境問題解決に向けた 社会システム	ゴミの分別収集によるリサイクル率の向上、生分解性プラスチックの活用やEXPOエコマネーの取組みと、その後の発展。
	環境共生を具体化する都市づくり	緑化システムとしてのバイオラングや間伐材の活用、ドライミストによる屋外冷房と、その後の発展。
	国際学術プロジェクト	博覧会が単なる集客事業だけでなく、国際的な学術の協働の場としての意義を世界に示し、今も発展交流していることを紹介。
展示テーマⅡ 博覧会のイノベーションと 社会の変革	未来の生活・産業インフラ技術①	ICタグを使った入場券や、様々な用途で活躍していたロボットなどの技術を紹介し、その後の社会での発展。
	未来の生活・産業インフラ技術②	新しい交通システム「無人隊列バス」やインターネットの実証実験に取り組んだことを紹介し、その後の社会での発展。
	次世代映像技術の新体験	全ての映像のデジタル化や当時の最先端だった超高精細映像技術を紹介し、4K・8K放送開始などその後の社会での発展。
展示テーマⅢ 開催地のブランディングと 都市インフラの継承・地域の発展	地球大交流の場としての 愛知・中部	121もの公式参加国、国際機関が出展し、地域別に分けられた6つのグローバルコモンを、グローバルルートとの位置関係を再現しながら配置。各コモンのにぎわいや、その後に続く愛知を舞台にした国際会議などの交流について紹介。
	森林と里山を生かした会場	高低差のある自然地形を生かしながら、来場者の快適な移動を実現したグローバル・ループや、自然そのものを体感する森林体感ゾーンについてあらためてその意義を紹介。
	博覧会を契機としたインフラ整備	愛・地球博の開催が契機として、様々なインフラが整備され、万博後の都市づくり発展の基礎を作り上げたことを紹介。
輝く記憶と未来の創造～Message for the future～シアター		本展示会用の新規制作映像により愛・地球博の素晴らしい成果と未来への貢献を映像により紹介。
愛・地球博メモリープロジェクションマッピング		愛・地球博記念公園のジオラマ模型に、プロジェクションマッピングを投影し、記録映像を交えながら、その場所の思い出を振りかえります。地球博が開幕し、にぎわい、閉幕。再び森にかえったストーリー。